

滋賀と福井の県境・湖北のブナ林を歩く
 琵琶湖と日本海が大きく見える

高槻勤労者山岳会／大阪

三鍋 敏郎



電波塔から湖北の乗鞍岳を望む

下山予定の、愛発越にある碎石場の入り口に車を置いて、マキノ林道から黒河峠に向かう。黒河峠にもう1台の車を停めて登る。峠からいきなりブナの美林の散策コースとなる。オオバクスミレが咲き、若草色のオトシブミの葉巻が落ちてくる。途中で関電の大きな建物に出合える。そこから暫く登ると鉄塔が聳る。そこから暫く登ると鉄塔が聳る。そこから暫く登ると鉄塔が聳る。そこから暫く登ると鉄塔が聳る。

台地から少し登ると道は平坦になり歩き易い。芦原岳分岐点に出て、北に向かうと鉄塔が見える。芦原岳山頂であるが、標識は手前の茂みにある。ここからも敦賀湾や目指す乗鞍岳や福井の山々が見渡せる。分岐まで引き返して、暫く行くと鉄塔があり切り開かれた場所に出る。踏み跡を探して次のピークに向かう。この辺りからもブナの混じる柔らかな自然林が続いている。やがて前方に電波塔が見えてくると、広大な広場に出る。様々な施設が点在しており展望が開けている。広場から小ピークに登ると一旦下って、乗鞍岳本体へ



ブナの美林の散策コースを芦原岳へ向かう

の登りになるが、簡単に頂上に上る。下山は北尾根に向かつて歩く。左手はブナ林、右手のスキー場側は深く切れ落ちていく。ここからP789mまでは快適な散歩コースが続いている。P789mからは地形図の道とは異なるが、暫くトラバース気味に美しいブナ林を歩いた後、急激な砂地の下りのジグザグが続いている。やがて、鉄塔の広場に出るが道はこの手前で二分する。私たちは車を置いた採石場方面に直進。鉄塔を越え尾根通しの山道を暫く下り、道が平坦になる標高400m辺りの分岐点を引き返すように採石場に向かう。



- ⌚ 黒河峠登山口>110分>芦原岳>70分>乗鞍岳>120分>採石場
- ⓧ 国道161号線県境の採石場手前に駐車スペースあり161号線から県道533号線へ白谷集落手前分岐から林道を北上すると黒河峠に出る
- ☎ 高島トレイル運営協議会 0740-22-6111
マキノ町観光協会 0740-28-1188
- ♨ マキノ白谷温泉八王子荘 0740-27-0085 木曜定休
マキノ高原温泉さらさ 0740-27-8126 第2・4水曜定休
共に500円
- 📍 駄口

⌚ 参考タイム ⓧ 問い合わせ ⓧ 交通 ♨ 立ち寄り湯 📍 地形図